

ラブバードテルアキ展・サロベツ

僕は鳥が好きでこの仕事を始めた訳ではなかった。何でも作るアクセサリー屋だったが、チョットしたきっかけから鳥のアクセサリーを作り始めてそろそろ 50 余年になる。不器用な僕はある時から鳥しか作らなくなった。鳥の観察もしなければと思いつつ、忙しさにかまけてもんもんとしていたある日、自分の工房は必ずしも町中にある必要はない事に気が付いた。鳥が見たいならば鳥の居る所に住めば良い。鳥のいる環境へ自分から入って行って鳥を作れば良いと思った。結果的にこの考えはその後の僕の生き方を変えてしまった。当時、神奈川県茅ヶ崎に住んでいたが、箱根の仙石原、富士山の山中湖、と工房を移し今は帯広までやってきた。鳥だけでなく、花も、木も、そして人も、僕の環境は一変した。鳥の教えてくれた自然の素晴らしさ全てが、いまの僕にはかけがえのないものとなっている。この仕事を長くやってきて本当によかったと思う。この『試される大地』北海道で少しでもより楽しい物ができるように、今後も励むつもりです。

今回のサロベツ湿原センターは僕にとって日本最北の展示会場になります。とても楽しみにしています。

つぼみ工房 田中輝顕

プロフィール

1941 年 旧満州新京に生まれる。

1963 年 父の主宰する物作り集団「つぼみ工房」に参加、木彫を始める。

1965 年 鳥のアクセサリーシリーズ『Birds of America』を制作、アメリカで発売。

1980 年 『日本の鳥シリーズ』をラブバードテルアキの名で日本野鳥の会から発売。

1986 年 「つぼみ工房」主宰

その後は箱根仙石原、富士山山中湖と工房を野鳥観察の出来る所へ移し、現在は北海道帯広の郊外で制作活動を続けるとともに、各地で個展開催。

